第 12 回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和 7 年 3 月 8 日(土) 16 : 30 ~ 16 : 45
場所 県庁 12 階 特別会議室 災害対策本部総務班

(16 時 30 分 開会)

【盛岡地方气象台】

大船渡市赤崎町付近の林野火災に係る気象解説について (資料を基に説明)

【防災課総括課長】

これまでの被害及び対応状況等について 3 月 8 日 14 時 30 分現在の状況報告 (資料を基に説明)

【環境生活部】

大船渡市赤崎町林野火災に伴う環境生活部関係の対応状況等について (資料を基に説明)

【保健福祉部長】

大船渡市赤崎町林野火災に伴う保健福祉部関係の対応状況等について (資料を基に説明)

【教育委員会】

大船渡市赤崎町林野火災に伴う教育委員会関係の対応状況等について (資料を基に説明)

【県警本部長】

警察では、昨日避難指示が一部解除された地域について、犯罪や各種トラブルが発生しないように警戒態勢をとり、警戒強化の対策を行っています。

4 点ございます。

1 点目は、被災地パトロールの強化です。これまでも被災地域は 24 時間態勢で警戒しておりましたが、避難指示が解除されたことを受けまして、警戒態勢をさらに強化しております。

2 点目は、防犯カメラの設置です。被災地域の主要箇所に防犯カメラを設置し、地域の防犯対策に活用することとしております。

3 点目は、すでに実施している対策ですが、犯罪予防の観点から、消火活動や復旧活動以外の無用な訪問や侵入を抑制する警戒検問を実施しております。

4点目は、自主警戒の強化です。大船渡市内の自主防犯組織による防犯パトロールを開始し、官民連携による警戒を強化しています。防犯団体の協力を得て、自主的なパトロールを共同で実施していくこととしております。

本日の活動における警察ヘリについて、午前中は宮城県警察のヘリが、午後は岩手県警察のヘリが偵察のフライトを実施しております。午後のフライトにおいては、私も搭乗して上空から状況を確認したところであり、今後の対策に活用したいと思っております。

明日は宮城、岩手いずれのヘリも待機となりますが、必要があればフライトできるように準備し、要請に応えるようにしたいと思います。

被災者の方が犯罪被害に遭わないように、安全安心の確保のために行う県警察の活動に御理解と御協力をよろしく申し上げます。

【陸上自衛隊岩手駐屯地】

本日、自衛隊として散水は実施しておりません。

明日についても、8機体制となっております。霞目、木更津駐屯地で陸上自衛隊のチヌークが計5基待機しております。航空自衛隊については、入間と三沢で計3機待機しております。

必要があれば散水に参りますので、引き続きよろしく申し上げます。

【総務省消防庁】

地元消防本部、岩手県内からの応援部隊、緊急消防援助隊合わせて約2,100人の隊員に加え、地元消防団約90人の団員が連携し、空中及び地上から熱源調査や残火処理を実施しているところでございます。

引き続き、24時間体制で、一刻も早い鎮圧に向け、全力を挙げて対応してまいります。

【達増本部長（知事）】

大船渡市の現場では、鎮圧に向けてヘリコプターからの熱源感知を行うなど、地上と上空から緊急消防援助隊や地元消防が、消防団も動員して消火や残火処理を行っているところであります。

昨日の夕方、国の関係閣僚会議で石破首相が、激甚災害指定の見込みである旨、表明されました。焼失した森林の回復に向けた復旧事業など大船渡市や関係機関と連携しながら対応していきます。

いくつかの地域で避難指示が解除される一方、今もなお、多くの方々が避難生活を余儀なくされています。また、家屋を失い、住宅再建に時間を要する方々もいらっしゃいます。

大船渡市や関係機関とも連携し、被災者の生活再建に向けて必要なサポートをしっかりとやっていきましょう。

(16時45分 閉会)

※ 第13回本部員会議は3月10日17時に開催する。